

令和7年9月4日開催
調 査

総務教育常任委員会資料

○調査事件1 原石売払いについて

総 務 課

調査事件 1 原石売払いについて

1 現在までの経過について

(1) これまでの議決経緯

吉岡砕石工業(株)と契約している物品(原石)の処分については、平成12年9月21日に議決(同年10月10日契約)後、次のとおり3回の議決変更を経て、現在に至っております。

議決変更日	契約日	変更内容
平成21年12月16日	平成21年12月28日	処分の場所、数量、金額等
平成27年 9月15日	平成27年 9月25日	処分場所
平成28年 6月21日	平成28年 6月22日	処分の数量、金額、採取期間

(2) 現契約の内容

区 分	内 容			
処分場所	福島町字美山1 3 2 番地1 地内、1 3 5 番地1 地内、 1 4 3 番地内、1 4 4 番地			
数 量	1, 9 2 0, 4 5 4 m ³			
契約期間	平成12年4月1日から令和8年3月31日まで（26年間）			
契約総額	1 8 7, 6 5 2, 7 8 0 円			
契約額内訳				
契約日	契約額	契約年度	年度別	年度別納入額
H12.10.10	170,750,753 円	H12～H21 (10年間)	H12	17,093,737 円
			H13～H20	17,073,000 円
			H21	17,073,016 円
契約日	契約額	契約年度	年度別	年度別納入額
H28.6.22	16,902,027 円	H28～R7 (10年間)	H28	1,690,227 円
			H29～R7	1,690,200 円

(3) 契約に基づき処分した数量等について

原石採取数量の確認につきましては、次のとおり取得数量等の報告がありました。

区 分	内 容
報告書提出年月日	令和7年8月8日
財産処分の契約期間	平成12年4月1日から令和8年3月31日まで
契約の原石採取数量	1,920,454 m ³
採取済みの原石数量	1,762,250 m ³
採 取 可 能 数 量	158,204 m ³ (令和7年9月以降の採取数量)

なお、原石採取箇所では、令和2年9月14日に1回目の崩落があり、崩落箇所の復旧に向けて作業をしておりましたところ、今年の7月22日に隣接する箇所の崩落が発生しております。

今後においては、崩落が落ち着いた後、安全確保を行い、崩落箇所の上部から原石の採取を進めていく予定であります。

2 今後の採取計画等について

今後の採取数量は次のとおりです。

(1) 今後の原石採取数量及び新たな原石採取計画

現契約での採取数量残等について、令和8年3月末までの間に採取が可能な原石数量（残数量）は、158,204 m³であります。

新たな契約では、令和7年8月に吉岡砕石工業(株)より提出された「原石採取量及び暫定採取計画算定報告書」を基に、次のとおり原石採取量を算定しております。

(2) 新たな契約（10年間）による原石採取量について

各層区分	埋蔵量の数量
土砂及び風化岩層	47,870 m ³
原石（玄武岩層）	164,260 m ³
合 計	212,130 m ³

3 原石売払い単価について

新たな原石の売払い単価については、既契約と同額の1 m³あたり75円を予定しております。算出方法については、次のとおりです。

(1) 利用率 67%

【算出方法】 $100\% - (\text{損失割合 } 10\% + \text{表土割 } 23\%)$

内 訳	埋蔵数量	割合
土砂及び風化岩層	47,870 m ³	23% (22.57%)
原石（玄武岩層）	164,260 m ³	77% (77.43%)
合 計	212,130 m ³	100%

(2) 単価積算基本数量 150 m³

【算出方法】 $100 \text{ m}^3 \times 1.5 = 150 \text{ m}^3$

発破、ブレーカー等の破碎行為後の数量。

全体量を100 m³とした場合の地山に対する原石の変化率を1.5とする。

(3) 製品可能量及び製品ほか・残土量

【算出方法】

①製品可能量 $100.5 \text{ m}^3 \cdots A$

$$150 \text{ m}^3 \times \text{利用率 } 67\% = \underline{100.5 \text{ m}^3}$$

②製品ほか・残土量 $49.5 \text{ m}^3 \cdots B$

$$\text{製品外 } 21.23 \text{ m}^3 + \text{残土 } 28.27 \text{ m}^3 = \underline{49.5 \text{ m}^3}$$

全体量を150とした場合の各項目の数量

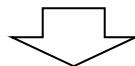
(単位: m³)

項 目	Aの内訳	Bの内訳	合 計
割石部門	59.27		59.27
砕石部門	11.02		11.02
小計	70.29		① 70.29
製品ほか（ズリ等）	26.88	21.23	48.11
土場残土	3.33	28.27	31.60
合計（製品原料）	100.50	49.50	② 150.00

(4) 歩留率 46.86%

【算出方法】 製品原料に対する製品量の比率

$$70.29 \div 150.00 = 46.86\%$$



原石売払い単価 1 m³当たり75円

福島町普通河川管理条例第8条第1項（4）に基づく産物採取料「切込砂利及び栗石」1 m³あたり額である160円を適用した。

・1 m³当たり単価 基本単価×歩留率

$$\cdot \text{基本額 } 160 \text{ 円} \times \text{歩留率 } 46.86\% = 74.976 \text{ 円}$$

3 売買代金について

$212,130\text{ m}^3 \times 75\text{ 円} \times 1.1 = 17,500,725\text{ 円}$

4 採取期間及び売買代金の支払い期間について

- (1) 採取期間・・・10年以内とする
(令和8年4月1日～令和18年3月31日)
- (2) 支払期間・・・10年間（均等払い）
最終納入期限 令和18年3月31日

5 売買価格の改定について

基本単価の改正及び経済情勢の変動等その他やむを得ない理由が生じた場合には、双方協議するものとする。

6 変更（追加）の内容について

区 分	内 容
数 量	212,130 m ³
金 額	17,500,725 円
納入方法	年間均等払 令和8年度分 1,750,725 円 令和9年度～令和17年度（各年度） 1,750,000 円
採取期間	令和8年4月1日～令和18年3月31日

原石売払いに係る変更（追加）契約と現契約の比較表

参考資料

1 利用率・製品可能量等

(1) 利用率等算出について

区 分	変更前 (ア)	変更後 (イ)	変更(イ)-(ア)
①利用率	損失割合 10%+表土割合 23% 100%- (10%+23%) = 67%	損失割合 10%+表土割合 23% 100%- (10%+23%) = 67%	変更なし
②原石変化率	$100.0 \text{ m}^3 \times 1.5 = 150.0 \text{ m}^3$	$100.0 \text{ m}^3 \times 1.5 = 150.0 \text{ m}^3$	変更なし
③製品可能量	$150.0 \text{ m}^3 \times 0.67 = 100.5 \text{ m}^3$	$150.0 \text{ m}^3 \times 0.67 = 100.5 \text{ m}^3$	変更なし
④製品外・残土 (②-③)	$150.0 \text{ m}^3 - 100.5 \text{ m}^3 = 49.5 \text{ m}^3$	$150.0 \text{ m}^3 - 100.5 \text{ m}^3 = 49.5 \text{ m}^3$	変更なし

(2) 表土割合算出について

(単位：%)

区 分	変更前 (ア)	変更後 (イ)	変更箇所 (イ) - (ア)
土砂及び風化岩	23 (23.41)	23 (<u>22.57</u>)	変更なし
玄武岩	77 (76.59)	77 (<u>77.43</u>)	変更なし
合 計	100.00	100.00	変更なし

- ・新契約の表土割合算出は、令和7年8月調査報告書による。
- ・現契約の表土割合算出は、平成28年4月調査の埋蔵量調査による。

2 全体量を150とした場合の割合について

(単位：m³)

区 分 項 目	変更前 (ア)			変更後 (イ)			変更箇所 (イ) - (ア)		
	(A)の内訳	(B)の内訳	合計	(A)の内訳	(B)の内訳	合計	(A)の内訳	(B)の内訳	合計
①割石部門	58.57	—	58.57	59.27	—	59.27	0.70	—	<u>0.70</u>
②砕石部門	10.89	—	10.89	11.02	—	11.02	0.13	—	<u>0.13</u>
③小 計 C	69.46	—	69.46	70.29	—	70.29	0.83	—	<u>0.83</u>
④製品外 (ズリ外)	27.62	21.22	48.84	26.88	21.23	48.11	△0.74	0.01	<u>△0.73</u>
⑤土場残土	3.42	28.28	31.70	3.33	28.27	31.60	△0.09	△0.01	<u>△0.10</u>
⑥合計 (製品原料) D	100.50	49.50	150.00	100.50	49.50	150.00	—	—	—

※P5の(3)の製品可能量及び製品外・残土量より

3 歩留率・基本単価等について

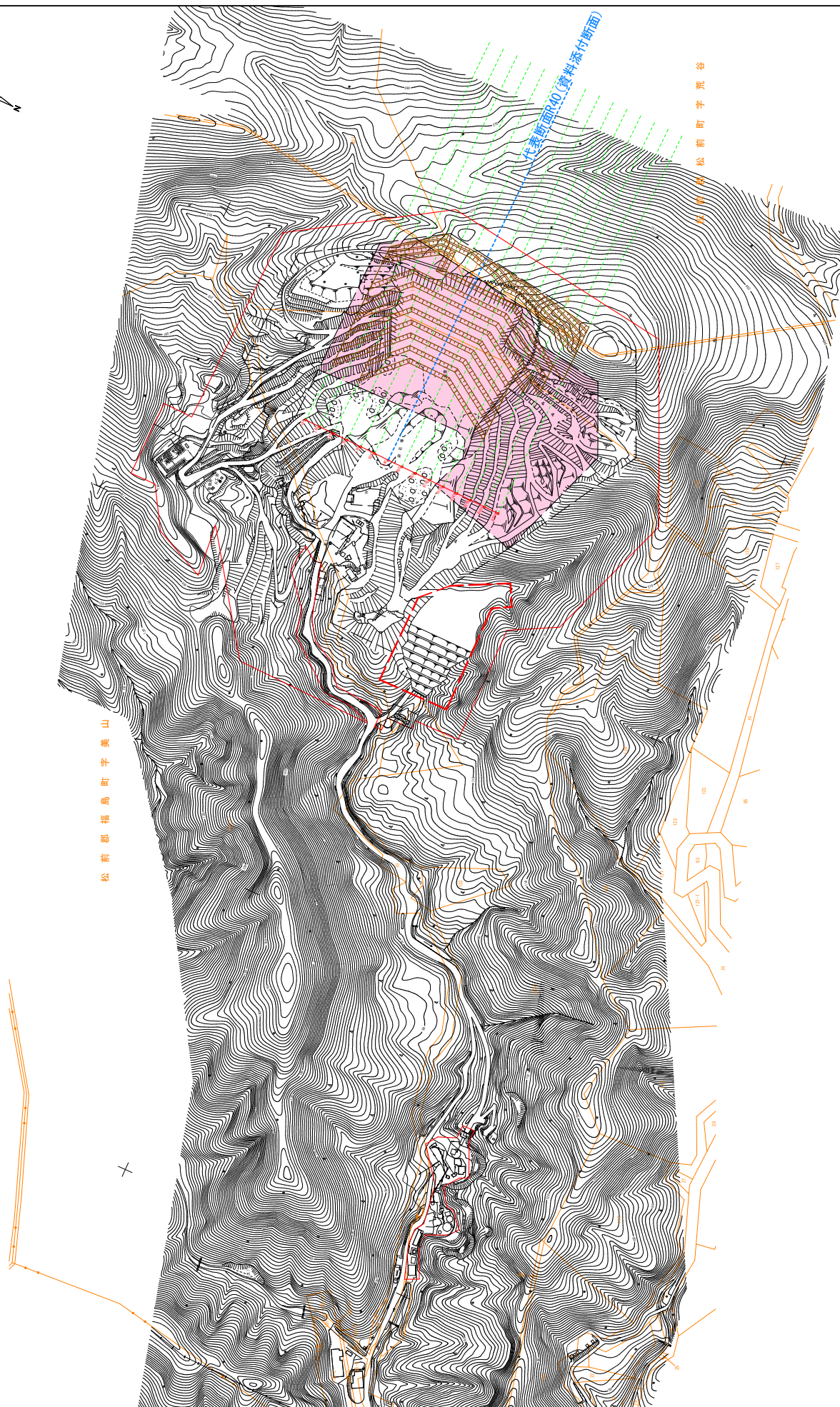
区 分	変更前 (ア)		変更後 (イ)		変更箇所 (イ) - (ア)
歩留率 (③÷⑥×100)	69.46 m ³ ÷ 150.00 m ³ × 100 = 46.31%		<u>70.29 m³ ÷ 150.00 m³ × 100 = 46.86%</u>		<u>0.55%</u>
基本単価	160 円		160 円		変更なし
1 m ³ 当たり単価	160 円 × 46.31% = 74.096 円		160 円 × <u>46.86%</u> = <u>74.976 円</u>		<u>0.880 円</u>
売払単価	75 円		75 円		変更なし

※歩留率・・・製品原料に対する製品量の比率

4 議決済内容と変更内容の比較

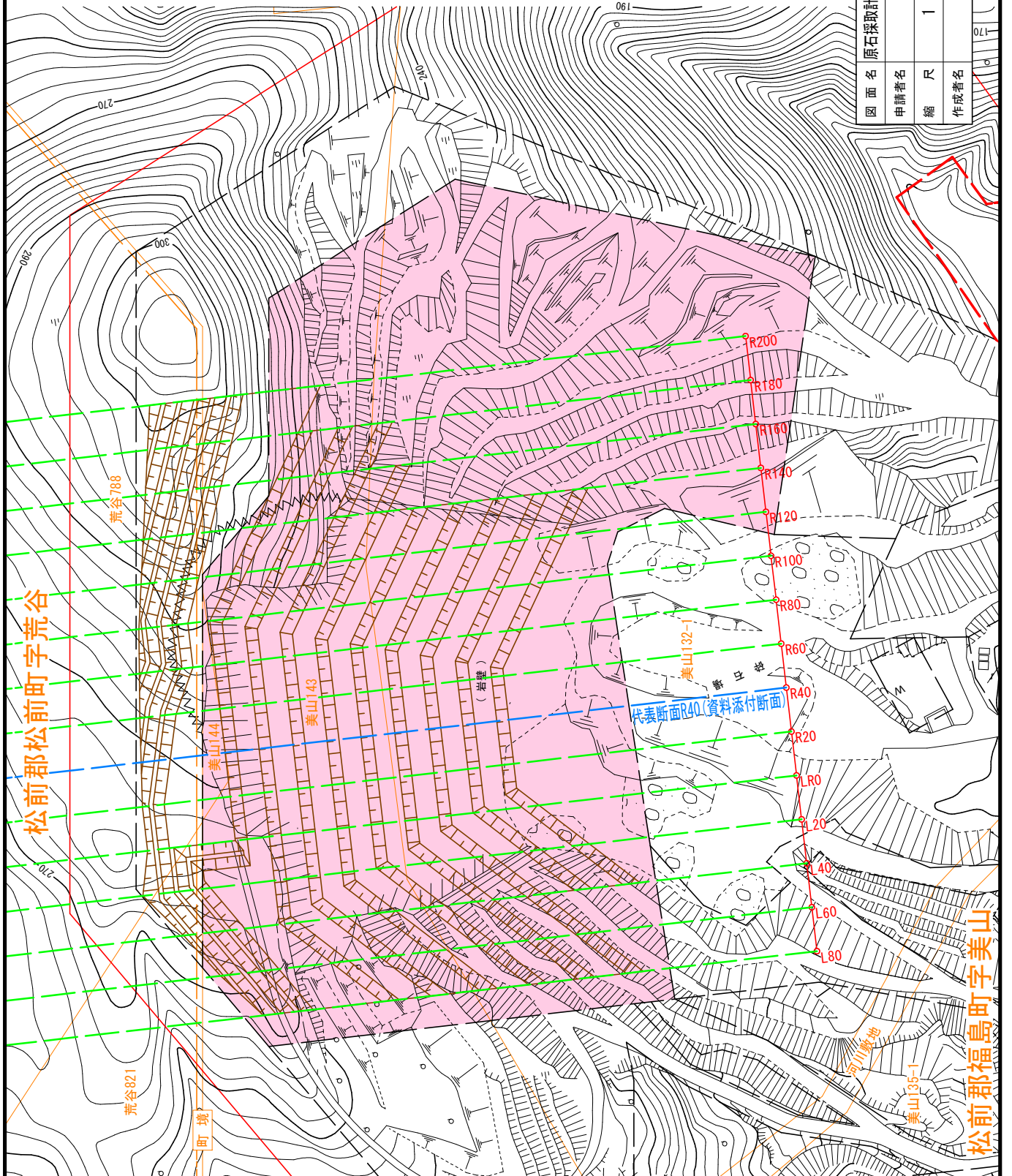
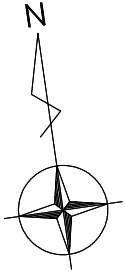
区 分	変 更 前	変 更 後	変更の内容等
処分の場所	福島町字美山132番地1地内 135番地1地内 143番地内、144番地	同 右	変更なし
数 量	<u>1, 920, 454 m³</u>	<u>2, 132, 584 m³</u>	212, 130 m ³ の増
金 額	<u>187, 652, 780 円</u>	<u>205, 153, 505 円</u>	17, 500, 725 円の増
納 入 方 法	1 納入済金額 (10 年間) 170, 750, 753 円	1 納入済金額 (10 年間) 170, 750, 753 円	1 平成12年度～平成21年度
	2 10年間均等払 (端数は初年度調整) 年間約 1, 690, 200 円 総額 16, 902, 027 円	2 納入済金額 (10 年間) 16, 902, 027 円 ※令和7年度分は令和8年2月末で 完納となります。	2 平成28年度～平成37年度
		<u>3 10年間均等払 (端数は初年度調整)</u> 年間約 <u>1, 750, 000 円</u> 総額 <u>17, 500, 725 円</u>	<u>3 令和8年度～令和17年度</u>
採 取 期 間	平成12年4月1日から <u>平成38(令和8)年3月31日</u>	平成12年4月1日から <u>令和18年3月31日</u>	10年間延長 (令和8年度から)

※金額は、消費税込額となっております。



現在契約している福島町内原石採取区域

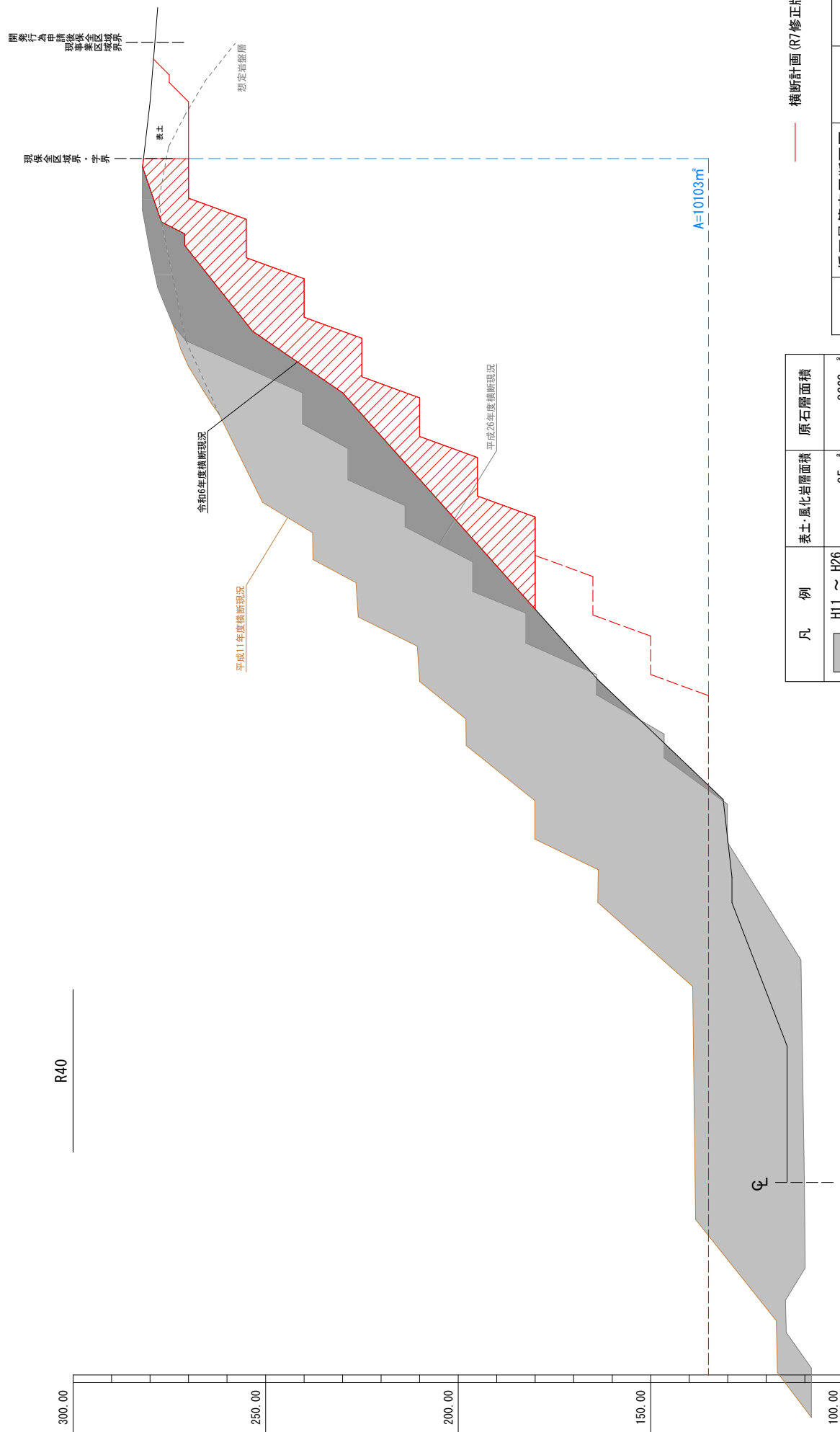
図面名	図面番号
原石採取計画平面図	吉岡砕石工業株式会社
申請者名	吉岡砕石工業株式会社
縮尺	1 : 5,000
作成者名	株式会社源士開発



図面名	原石採取計画平面図(拡大版)	図面番号	
申請者名	吉岡砕石工業株式会社	作成年月日	令和7年8月
縮尺	1 : 2,500	作成者名	株式会社測土開発

松前郡福島町字美山

松前郡松前町字荒谷



横断計画 (R7修正版)

凡 例	表土・風化岩層面積	原石層面積
■ H11 ~ H26 採取部面積	35 m ²	8262 m ²
■ H26 ~ R 7 採取部面積	150 m ²	1376 m ²
▨ 将来計画 採取部面積	47 m ²	1730 m ²

図 面 名	採石量算定用断面図	図 面 番 号
申請者名	吉岡 砕石工業株式会社	
縮 尺	株式会社測土開発	作成年月 令和7年8月
作成者名	株式会社測土開発	